

2021年4月7日

寿都町長 片岡春雄殿

## 公開質問状

子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会

以下の質問事項について、4月15日までに書面にてご回答願います。

1. 4月4日と5日の北海道新聞によりますと、貴職が2018年4月4日の産業5団体の幹部との異業種懇談会の場において、核のゴミ最終処分場の文献調査を受け入れると多額な交付金を得られると説明し、応募に前向きな姿勢を示した、とありました。これは事実でしょうか？
2. また、このときに議論が打ち切りになったのは、ある団体代表が怒声を浴びせて、強く反対したためだと記事にはありましたが、これは事実でしょうか？
3. さらに、強く反対した方の団体代表交代を待っていたかのように、1年後にエネルギー施策の勉強会を開始したと記事にはありましたが、これは事実でしょうか？
4. これらが事実であるのなら、2020年8月以降の住民説明会などの場において、文献調査の応募を検討し始めた経緯について、「胆振東部地震を受け、文献調査に応募して町内の地盤が安全か調べたかった」と説明してきたことと矛盾します。胆振東部地震は、後付の理由ではないのですか？ この矛盾について説明してください。

貴職はこれまで町民軽視の姿勢を貫き、文献調査の応募にまで踏み切りました。しかし、町民が知らなかった事実が今回のように発覚すると、町民の町長不信はますます高まります。1～4の質問に、事実を踏まえてお答えいただき、町民に誠意をもって対応していただきたいと存じます。

子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会

事務局 048-0401 寿都郡寿都町字新栄町 101-6